

東堅町の歴史的文化財・人材を生かしたまちづくり『文化祭と文化講座』

京都府亀岡市東堅町自治会

文化委員会副委員長 宇古 守

委員 ○達富 弘之

委員 太田 広

1. 活動方針・目的

小さな地域のささやかな活動、地域内に存在する歴史的建造物、文化財、人脈を活用し、歴史に学び、未来を展望し、地域住民相互のコミュニケーションと連帯を保ち、望ましい共生環境を整える。

2. 活動内容

文化講座は座学と郊外学習で組み立て年各4回を基本とする。

文化祭は10月23-25日、亀岡祭りの期間に合わせて実施する。

どちらも、オープンで町内外からの参加も歓迎して実施する。

2006年より始めた切り絵教室の作品を中心に、同年、手芸、俳句、写真、絵画等を集めた第1回東堅町文化祭（作品展）を開催。有志による実行委員会形式の活動は5年間の継続を経て、2010年自治会の直轄行事に昇格した。合わせて、数年前から温められていた町誌作成も本格的な取り組みが始まり、同年より、文化講座を開講している。

本年度には町誌完成させる為、編集作業を進めている。

活動内容は東堅町自治会のホームページで紹介している。

(<http://www.higabun.web.fc2.com>)

3. 他の活動団体の参考となる事例

小さな自治体・小さな組織のささやかな活動

地域の文化力を高める本年度の活動実績『文化祭と文化講座の取り組み』

4. 今後の課題等

文化祭は開催を始めて7年が経過した。地元町内でも定着し、例年の来訪者も町外、市外、府外からのリピーターも定着している。規模の拡大は考えていない。当面は現状の継続が大切と考える。町外からの出展も受け入れ、参加作品はすべて展示している。規模の拡張は考えていないが、出展希望の増加にいかに対応するかが課題の1つである。

一番大きな課題は地域の高齢化である。力仕事はまず期待できない。会場設置・撤去の労力が最大の負担である。年間を通して計画的に地域のコミュニケーションを図るには大切な行事であり、今後も無理のない形で継続を目指したい。

文化講座は3年前より、地域の歴史を検証する取組の一環として開催した。町内に残っている貴重な歴史遺産が見えてきて興味は尽きない。町内全体のものには成りきっていないが共感を得ている。自分たちの親たちが脈々とつないできた生活の歴史と文化を守り続け、地域としての未来を展望したい。この取り組みを地域全体のものとして進むには、地域の賛同者を増やすことが大切である。この取り組みが一番大切で一番難しい課題である。

小さな自治体・東豎町のまちづくり

文化祭と文化講座

東豎町自治会文化委員会



自治会組織図

東豎町自治会

町内の自治（良好な地域社会の維持及び形成に資することを目的とし各種情報提供と親睦連帯感を深める行事等。ホームページの運営）

東豎町自治会文化委員会

文化講座のとりくみ

- ①文化講座及び古文書講読
- ②郊外講座
- ③町誌作成
- ④古文書講読、文化資料の検証

文化祭のとりくみ

- ⑤文化祭の実施
- ⑥燈籠の製作

文化委員会の基本理念と取り組み

- 小さな地域のささやかな活動、地域内に存在する歴史的建造物、文化財、人脈を活用し、歴史に学び、未来を展望し、地域住民相互のコミュニケーションと連帯を保ち、望ましい共生環境を整える。
- 少子高齢の中、町内の活性化の為文化委員会を発足させ、町内の歴史を研究し、未来に残す取り組みを実践する。
- 町内に残る文化財の保存、改修に取り組む。

本年度の文化講座、文化祭プログラム

1.文化講座

H24/5/26 第1回文講「幕末の丹波亀岡藩」

H24/7/14 第2回文講「東豎町・町内行事の考察」

H24/8/18 第2回文講特別編古文書講読Ⅱ「惣割勘定帳」

H25/2/2 第3回文講「兵役と東豎町」実施予定

H25.日時未定 第3回郊外講座の予告

「亀岡町内に点在する常夜燈の探訪」

2.文化祭

H24/10/23-25 第7回東豎町文化祭テーマ「亀岡祭の鉾」

過去に実施した文化講座

H22/4/7 第1回文化講座「豎町のおこり」

H22/6/26 第2回文化講座「町内自治組織の近代化」

H22/10/7 第3回文化講座「聖隣寺と毘沙門天祭」

H23/2/19 第4回文化講座「祇園社の研究Ⅱ」

H23/5/28 第1回文化講座「国防婦人会の頃」

H23/7/2 第2回文化講座「子供会活動の思い出」

H23/8/27 第3回文化講座「古文書研究の誘い・浩斉日記を読む」

H24/2/18 第4回文化講座「京街道を語る・古道にロマンを感じて」

H24/5/26 第1回文化講座「幕末の丹波亀岡藩」

H24/7/14 第2回文化講座「東豎町・町内行事の考察」

H24/8/18 第2回特別編「古文書講読Ⅱ「惣割勘定帳」

H24/11/24 第3回文化講座

「常夜燈と鍬山神社例祭と練り物行列について」

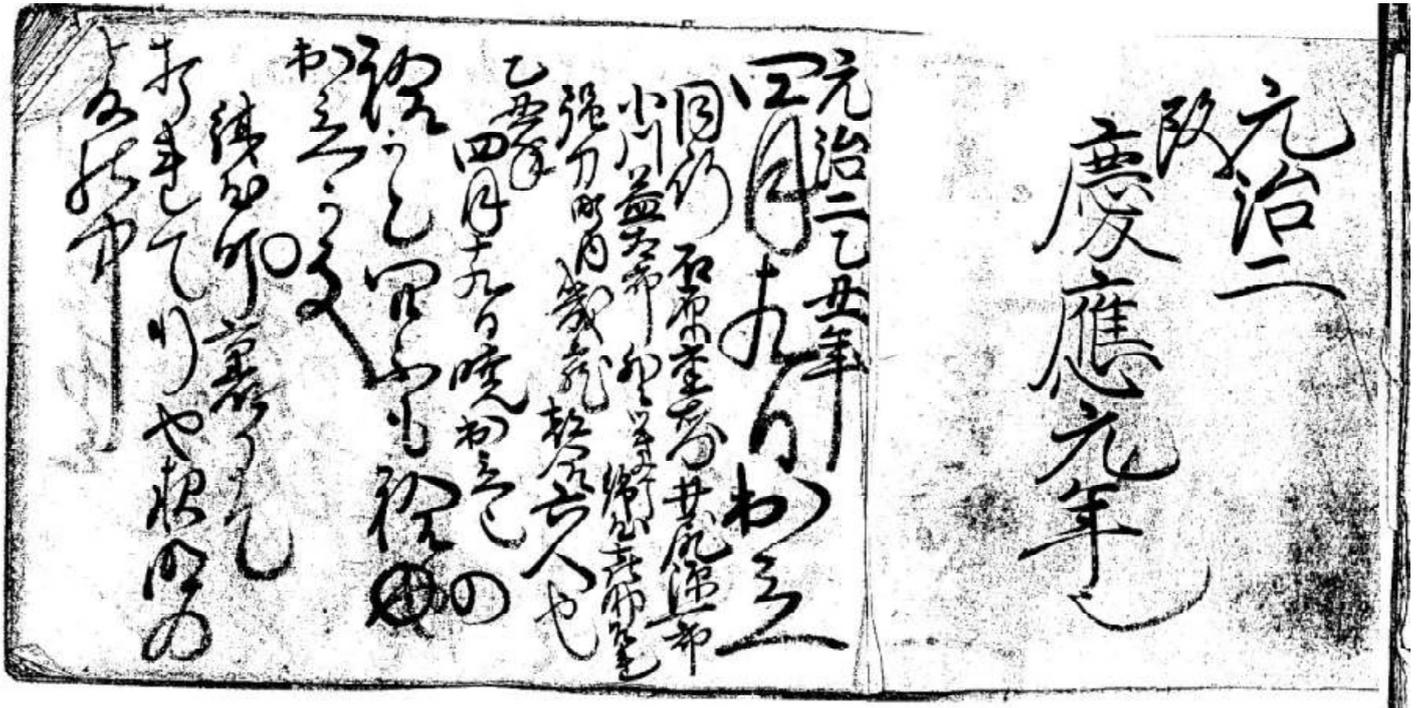
第3回(H23.8.27)文化講座「古文書研究の誘い・浩斉日記を読む」実施



第4回(H23.2.19)文化講座「祇園社の研究Ⅱ」実施



「浩齊日記」原文の書き出し



第2回(H24.7.14)文化講座「東豎町・町内行事の考察」実施/毘沙門天祭



文化祭の取り組み

2006年文化高揚の取り組みの一環として切り絵教室を始めた。同年切り絵、俳句、写真、絵画等を集めた第1回東豎町文化祭(作品展)を開催。

第2回(2007年)文化祭に切り絵灯籠を36基(花火)を作り町内を照らした。以降毎年増設し現在127基保有。

同好会という形で5年間活動を続け2010年自治会の直轄行事として承認された。今年で7回目を実施した。

山田京都府知事と 栗山亀岡市市長の来訪



第5回(H22.10.23-25) 文化祭実施 バザー風景



第6回(H23.10.23-25)文化祭実施 アグネットフロック女史を囲んで記念撮影



第7回(H24.10.23-25)文化祭実施



第1回目亀岡市市長一行、第2回目京都府知事一行が来訪。
以降関心のある毎年関係諸機関の重きをなす人物の来訪、視察がある。

第7回(H24.10.23-25)文化祭に併せた 亀岡の鉾燈籠の製作風景

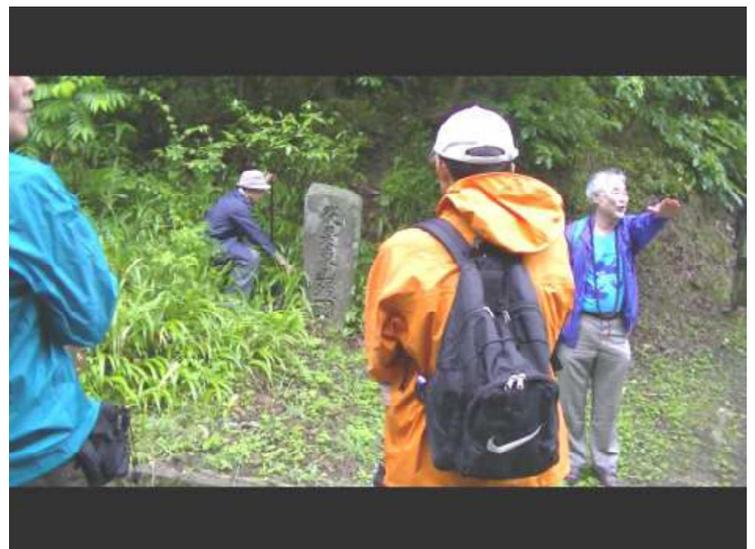


郊外講座の取り組み

H24.6.9 第1回郊外講座
「新緑の老いの坂峠・山陰
古道のロマン」

H24.9.8 第2回郊外講座
「古世町東部見て歩き」

第1回(H24.6.9)郊外講座実施
「新緑の老いの坂峠・山陰古道のロマン」



第2回(H24.9.8)郊外講座実施 「古世町東部見て歩き」



郊外講座3(H25.日時未定)の予告 亀岡町内に点在する常夜燈の探訪



屋根を宝珠に持つ珍しい燈籠と 町内に唯一存在する聖隣寺の常夜燈



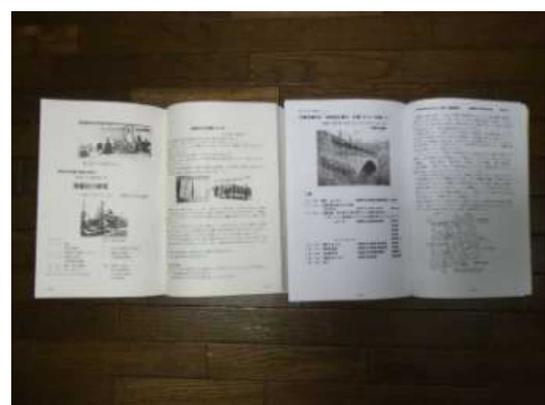
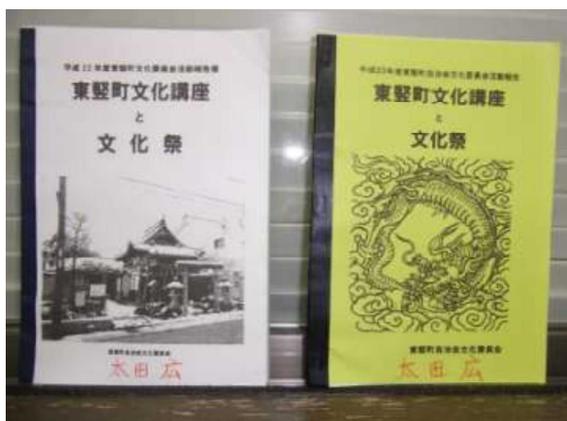
町誌作成の取り組み

数年前から温められていた町誌作も本格的な取り組みが始まり、本年度完成の予定。

平成22

23年度中間報告

記事のページ



ご静聴ありがとうございました。

終わり